

第 26 回直方市子ども・子育て会議議事録

日時：令和 6 年 8 月 27 日（火）18 時 30 分～

会場：直方市役所 5 階 504 会議室

出席者：植村委員（会長）、大和委員（副会長）、池田委員、石橋委員、柏木委員、平委員、長谷川委員、松村委員、野口委員（途中退席）

事務局：こども育成課 岩尾課長、大田原係長、十時係長、多久美主事、甲原主事
子育て障がい支援課 塩田課長、中島係長、野村係長、本松係長

《議題》

1) 第 3 期子ども・子育て支援事業計画について

① 第 2 期計画からの変更点について

2) その他

① 学童クラブの閉所日について

② 学童利用者の同意書

③ 子ども・子育て会議の部会について

《議題に入る前に》

- ・第 3 期子ども・子育て支援事業計画について、直方市長から直方市子ども・子育て会議会長へ諮問。

議題 1) 第 3 期子ども・子育て支援事業計画について

① 第 2 期計画からの変更点について

○今回諮問した第 3 期計画（案）の内容について、事務局から第 2 期計画からの変更点を説明。

- ・第 2 期計画における各事業の実績値を算出。
- ・教育・保育等の円滑な利用及び質の向上のため、「乳幼児教育指針（仮称）」策定を進める。
- ・法の改正や最新の国の方針に沿った事業の追加、整理。

○質疑応答

（委員）第 3 期計画の事業予算はどのように決まるのか。いくら見込んでいるのか。

（事務局）計画期間 5 年分全体の予算額は決まっていない。第 3 期計画の内容に沿って毎年度予算を要求し、議会で議決を得られれば毎年度予算成立となる。

（委員）計画策定の今後のスケジュールは。

（事務局）次回の子ども・子育て会議で再度協議のうえ、最終案を作成。12 月に最終案の議員報告会、12 月中旬から 1 月までパブリックコメントを実施し、子ども・子育て会議の答申をいただいた後、今年度中に策定と公表を行う。

（委員）教育・保育（1 号～3 号）の第 2 期の当初計画値と実績値が大幅に乖離している。

正しく数値を見込んでいないと大変なことになる。今回の計画値の根拠は。

(事務局) 第3期はアンケートの結果を踏まえつつ、実績値に基づいて積算している。

(委員) 待機児童問題がほぼ解決した印象だが、次は人口減少と各園の定員割れ、人手不足という問題が出てくる。そこに対する行政の支援や補助など、もっと踏み込んで計画に盛り込む必要があると考える。

(委員) 子ども家庭センターの設置の背景として、児童虐待や貧困といった問題について言及があるが、こうした問題については、子ども自身が置かれている状況が大事で、子どもを主体に考えるべき。子どもは力がないから、子どもにしわ寄せがいく。こども育成課だけではなく、市の関係する部署が連携して、計画の中に書かれていることがきちんと実施されることを願う。

(委員) 今年度は夏休みの学童を実施すると聞いたが、実績は。

(事務局) 待機児童となっている方全員に案内を行ったが、入所希望は0だった。理由としては、違う学校の学童にわざわざ連れていくまでもなくても良いというご意見だった。今後も年度当初から周知して、需要があれば対応したい。

(委員) 夏季学童クラブを実施する予定だったということであれば、文言を削除せず、令和6年度の実績として計画の中に組み込んだ方がいい。

議題1については次回の直方市子ども・子育て会議にて継続協議

議題2) その他

① 学童クラブの閉所日について

○事務局から令和7年度以降の学童クラブの閉所日について説明。

- ・現在、年末年始は12月30日からが学童クラブの閉所期間
- ・令和7年度からは12月29日から閉所することを提案
- ・近隣の自治体でも12月29日まで開所しているところはない。

② 学童利用者の同意書

○事務局から学童を利用するにあたっての保護者に向けた同意書について説明。

- ・利用申込に必要な書類として、2学期から同意書を提出してもらうよう考えている。

③ 子ども・子育て会議の部会について

○事務局から乳幼児教育推進部会開催状況の報告。

- ・令和6年8月2日に第1回乳幼児教育推進部会を開催した。
- ・2回目以降も開催予定。

議題2については承認

閉会